

第2回委員会意見と対応事項

	意見	対応(案)	備考
第1回委員会検討結果と指摘事項			
1	長岡都市圏の事故発生件数について、自動車事故・自転車事故の内訳と、年齢層別に事故状況を整理してもらいたい。	交通安全対策に関する検討の基礎資料として、交通事故の現況等について整理する。	
2	交通事故多発交差点は、いずれもICからのアクセスに近いところにある。見附IC、長岡ICに近いところなど、高速道路の速度に慣れてしまい一般道路に入ったときにスピードが出すぎてしまうことも、ある程度関係しているのではないか。この点についても調べていただければ。		
交通円滑化に向けた課題と重点テーマ			
【ソフト施策について】			
3	アンケート調査結果を見ると、中心市街地と郊外部でクルマの必要性や利用率に差があることから、ソフト施策の内容を地域により変えた方が効果的だと思う。とても大きな都市圏なので、モビリティマネジメントのひとつというより、全体的なトーンとして場所によって施策が変わるという考え方があっていいのではないか。	基礎調査結果、実態調査結果を鑑み、地域の実状を踏まえたソフト施策について、検討を進める。	
【公共交通について】			
4	課題に挙げられている「コミュニティバスの拡充」について、路線長とバス停の間隔については十分検証をして路線を決めていただきたい。また、どれくらいの負担がかかるのかということセットで考えないといけない。	コミュニティバスの現状や課題等を整理しつつ、詳細の検討については、市担当課と調整を図っていく。	
5	高齢者の免許返納やまちなか回帰の動きに合わせ、安く利用しやすい、まちなかコミュニティバスを道路整備とあわせて考えていくと良いのではないか。	コミュニティバスの現状や課題等を整理しつつ、詳細の検討については、市担当課と調整を図っていく。	
6	長岡駅大手口のバスターミナルの建屋の老朽化が著しい。事業者で全て負担して直すのは厳しいため、利用促進のためにもご考慮いただければありがたい。	今後、事業者と市担当課で調整を図っていくこととする。	

【重点テーマについて】		
7	重点テーマで、「自家用車から公共交通への転換」とあるが、郊外部のクルマに依存している現状を勘案すると、車の効率的な利用を図ることや、公共交通以外でも実情に合わせたメニューを出したほうが良い。	基礎調査結果、実態調査結果を鑑み、地域の実状を踏まえたソフト施策について、検討を進める。
8	地域の人たちの支援策として、コミュニティバスをどう支えていくか、仕組みをきちんと作り、重点的に検討する項目として挙げていただきたい。今後の検討資料としてコミュニティバスの現状と課題を整理してほしい。	コミュニティバスの現状や課題等を整理しつつ、詳細の検討については、市担当課と調整を図っていく。
9	目標設定の指標に公共交通機関の満足度があるが、効果的に予算を使うためにも、利用者にとって満足度を高めている要因を分析した方が良い。	交通円滑化計画に即した効果指標の内容について、今後検討を進める。
10	定住人口だけを意識するのではなく、交流人口を意識し、その人たちを呼び込めるような交通施策を考えていくことも大事ではないか。	今後、交流人口の増加（観光等）の視点も含め、交通施策を検討する。
ソフト施策の検討、試験的实施		
11	自動車からの転換として考えられる交通手段はバスだけでなく自転車が多い。導入が考えられるソフト施策として色々挙げられているが、自転車に関する施策があまり見られない。モビリティマネジメントでクルマを使わないことによる色々な価値を感じてもらおうという場合に、自転車利用の価値をうまく創造して、十分なオルタナティブになり得るような環境整備を検討するといいと思う。	別途、市担当課で自転車ネットワークについて検討を進めており、情報共有を図りつつ、検討を実施する。